

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画 事後評価シート

東武宇都宮駅周辺地区

平成31年3月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	東武宇都宮駅周辺地区			面積	273ha			
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	8,211百万円	国費率	0.5					
		事業名										
		当初計画に位置づけ、実施した事業 基幹事業 提案事業	・地域生活基盤施設(地域防災施設):一条中学校(防災備蓄庫) ・地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設):一条中学校									
			なし									
1)事業の実施状況		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		当初計画から削除した事業 基幹事業 提案事業	なし			—						
			なし			—						
		新たに追加した事業 基幹事業 提案事業	・道路(市道3号線(ユニオン通り))、高質空間形成施設(市道3号線ユニオン通り) ・市街地再開発事業(宇都宮大手地区) ・住宅市街地総合整備事業(密集住宅市街地整備型)(小幡・清住地区)			道路事業、市街地再開発事業、住宅市街地総合整備事業などと、一体的に取り組むことで目標達成に向け、高い効果が見込まれるため			歩行車・自転車交通量 目標値の見直し(増加)			
			なし			—						
		交付期間の変更 当初 変更	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—				
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況		指標		従前値	目標値		数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定期間	
		指標1 空き店舗数	店	113	H24	100	H29	モニタリング	評価値	あり なし	中心商業地出店者支援等とあわせて特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構による空き店舗の情報提供等、各団体と連携した取り組みを継続的に行ってきた結果、空き店舗数の減少につながった。	—
		指標2 居住人口	人	15,646	H25	15,940	H29	モニタリング	評価値	あり なし	住宅取得補助や家賃補助等による居住促進事業に加え、民間事業者の開発により都心居住が促進され、居住人口の増加につながった。 更に今後は大手地区市街地再開発事業の完了により、これまで以上の居住人口増加が見込まれる。	—
		指標3 歩行者・自転車通行量	人	99,428	H25	104,740	H29	モニタリング	評価値	あり なし	通行量は、これまで大型商業施設の郊外移転等の影響もあり、平成27年まで減少傾向であったが、空き店舗の減少等とともに、平成29年には増加に転じているもの、目標の達成には至らなかった。 (近年の通行量減少傾向に歟止めがかかるから、目標達成度は△としている)	—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況		指標		従前値	目標値		数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定期間	
		その他の数値指標1 中心市街地拠点広場のイベント開催数及び来場者数(オリエンスクエア及びパンパ市民広場)	回 人	320 280,841	H24	333 442,479	モニタリング	評価値	※1	イベントが定期的かつ継続的に開催されていることにより、認知度が高まってきたことや、オープニングセレモニーの実施など、市民等がイベントに参加しやすい環境が整備され、開催回数の増加とともに来訪者も増加し、賑わいの創出につながった。	—	
		その他の数値指標2										
		その他の数値指標3										
4)定性的な効果発現状況		・災害時の避難所に指定されている一条中学校については、防災備蓄庫を整備したほか、大手地区市街地再開発事業については、施設の一部を帰宅困難者支援施設として利用可能とするなど、安心安全なまちづくりの推進につながった。										
5)実施過程の評価		実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
		モニタリング	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			—			
		住民参加プロセス	各事業において随時地域住民や権利者へ説明会を実施。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構、各商店街、市が連携し、中心市街地活性化に向け、より一層の振わい創出に取り組んでいく。			
									—			

様式2-2 地区の概要

東武宇都宮駅周辺地区(栃木県宇都宮市)都市再生整備計画の成果概要							
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値		目標値		評価値	
大目標 ネットワーク型コンパクトシティの核としての都市拠点の形成 目標1 本市の中枢性や存在感の向上につながる高次な都市機能を集積する。 目標2 子どもから高齢者まで誰もが安心して快適に暮らせる、都市環境を形成する。 目標3 都市拠点として、広域的な交流や賑わいを創出する。	空き店舗数 居住人口 歩行者・自転車通行量	単位:店 単位:人 単位:人	113 H24 15,646 H25 99,428 H25	100 H29 15,940 H29 104,740 H29	45 H29 16,149 H29 87,543 H29		
	その他の 数値指標1		従前値	目標値	評価値		
	中心市街地拠点店場のイニシアチブ数及び来場者数(オリオンスクエア及びパンパ市民広場)	単位:回 単位:人	320 280,841	H24		333 442,479	H29
まちの課題の変化	<p>立地適正化計画が策定され、高次で多様な機能を備える都市拠点として位置づけられたことから、都心居住の促進を図るとともに、中心市街地に相応しい都市機能を誘導するなど、快適で魅力的な都市空間の創出を図る必要がある。</p> <p>・一条中学校や大手地区市街地再開発事業による老朽建築物の更新によって、防災性の強化が図られたが、さらに、老朽化した建物の解消などを推進し、より広域的に防災性を強化していくことが求められている。</p> <p>・居住人口が増加したことから、新規転入者等が地域社会に参画できる環境づくりによる中心市街地の賑わい創出を求められている。</p>						
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>【都市拠点としての魅力向上】</p> <p>・「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を図るために、各事業との連携を図りながら居住や高次な都市機能(商業・医療・福祉・教育・文化等)の誘導・集積とあわせて都市緑化を推進するとともに、魅力ある都市景観の形成を図っていく。</p> <p>【安心安全なまちづくりの推進】</p> <p>・中心市街地の防災面の強化に向け、老朽建築物の解消や広域的な基盤整備を展開するため、計画的に市街地再開発事業や土地区画整理事業を推進していく。</p> <p>【まちづくり活動への支援】</p> <p>・地域が誇れるようなまちづくりを推進するため、地域活動への住民参加のきっかけとなる自治会の加入促進及び自治会や商店街等のまちづくり活動に対し、積極的に支援していく。</p>						